

会議記録（要旨）

| | | |
|--|--|---|
| 会議名 | 平成28年度 第1回杉並区子ども読書活動推進懇談会 | |
| 日時 | 平成28年6月30日（木） 午後6時～8時 | |
| 場所 | 中央図書館 視聴覚ホール | |
| 出席者 | 委員 | 岩崎委員、津田委員、滝田委員、楠本委員、増田委員、赤荻委員 |
| | 事務局 | 森中央図書館長、岡本中央図書館次長、企画運営係（杉本係長、松澤）、事業係（奈良係長、伊藤） |
| 配付資料 | <p>第1回杉並区子ども読書活動推進懇談会次第</p> <p>資料1 平成27年度子ども読書活動進捗管理票</p> <p>資料2 平成27年度子ども読書活動実施報告書</p> <p>資料3 杉並区子ども読書活動推進懇談会名簿</p> <p>杉並区子ども読書活動推進計画 平成28・29年度</p> <p>その他 委員持ち寄り資料</p> | |
| <p>1 委員紹介</p> <p>各委員自己紹介</p> <p>2 平成27年度子ども読書活動推進計画進捗状況の報告について</p> <p>事務局 来年度の事業になるが、宮前図書館にて高井戸子どもセンターと連携事業の打ち合わせを行っている。具体的には、図書館で行うおはなし会に子どもセンターの職員が来て子育て相談を行う出張相談会を企画している。多くの図書館では、あかちゃんおはなし会が終わると、交流の場として場所を開放しているので、そこで子育て相談ができれば、行政もお母さんたちも気軽に利用できるいい企画だと思う。実施報告に期待したい。</p> <p>地域で活動する人々との協力では、ボランティアさんとはおはなし会をするだけでなく、懇談会、連絡会を行い、次につなげていく努力がなされている。ボランティアさんの改善意欲がとても高いという報告を受けている。</p> <p>学校における読書活動の推進では、大宮小学校の大宮としょしつだより100号を記念して、永福図書館に掲示の打ち合わせが行われ、28年度に入ってすぐに実施された。100号ともなると壁一面に貼られていた。</p> <p>学校ごとの特色のある読書活動の推進で、沓掛小のくいしん本の報告があった。内容は、材料、レシピ、本の紹介がまとめられたもの。給食とのコラボがまた進化した形となった。</p> <p>わかりやすい案内地図の作成と配布先の拡大で、今川図書館で図書館だよりなどを近隣の郵便局に置いていただけた。このように行政関係機関以外の施設にチラシなどを置いていただけるように拡大していきたいと思う。</p> | | |

第1回すぎなみサイエンスフェスタに中央・永福図書館で共同出展した。
高井戸中学校からの要望を受け、実施したビブリオバトルの報告がある。これは、高井戸図書館の職員と中学生が学校の昼休みを使って短い時間で複数回行われた。扉一枚で行き来ができる施設の特徴がよく表れている。

委員 報告について質問は。

委員 事業の報告の時に映像や写真があれば、イメージがつかみ易い。

委員 今川図書館以外におたよりを郵便局に置いてもらっている館はあるのか？

事務局 児童館や保健センター、学校図書館など行政関係にはこれまでも置いてもらっているのだが、それ以外となると無い。

委員 良い事例なので、他の館に広がって欲しい。

委員 宮前図書館の相談会について、あかちゃんタイムはお母さんたちの交流の場である。また、お話会の後は雰囲気や和んでお母さんたちが交流しやすくなる。出来れば、相談会はお話会の前にやって欲しい。

事務局 相談会の時間帯を確認する。合わせて、要望も伝える。

3 杉並区子ども読書活動推進計画 平成28・29年度について

事務局 <改定した箇所を中心に説明>

委員 Y Aルームの充実とあるが、その部屋にY A向けの本をそろえているのか？

事務局 中央図書館児童資料室は、調べ学習をする部屋。Y A向けの本は、1階にY Aコーナーを設け、そこに置いている。これからどうするかは改修に向けて検討する。

委員 学級貸出選定への支援にあるマニュアルはこれからつくるのか？

事務局 小学校に置く学級貸出用の図書を保護者の方が選びに来る。選定に来る保護者の方向けの説明書。4月に数回選定に来られているので、既に説明済み。

委員 選定済みの（貸出用）パックがあるのか？

事務局 それは無い。

委員 未読者は、図書館以外で読んでいるのではないか？

事務局 未読者率は、学校で行われている調査なので、逆に学校だけの数字である。

委員 学校以外の調査も合わせて実態を知る必要があると思う。子どもの成長は読書体験だけでなく、自然体験も必要ではないか？図書館で自然体験ツアーを企画するとかはどうか？

委員 青少年教育振興機構でも同じようなことを言っている。読書体験と同時に自然体験含めて青少年の健全育成に関する体験活動をそこで調査が行われていると思う。

図書館単体では難しいだろうから、社会教育関係機関の団体と連携して行うのはどうだろうか？学校の課外活動に図書が関わっていれば可能ではないか？

事務局 以前、北海道名寄市へ自然体験交流に行く子どもたちが事前学習する場所と資料の提供をしたことがある。

委員 学校図書館を活用した教育活動で学校図書館活用研究指定校・モデル実践校とあるがどこの学校か？どのような活動をするのか？

事務局 昨年度、高東小、西田小、中瀬中が指定されたものを子ども読書活動推進計画の新規項目として取り上げたもの。今年度は8校を予定している。指定校は次回までに確認しておく。

委員 未読者は何に時間を費やしているのか？今、スマホで読んでいる。時代が変わってきているので、自由記述などで実態をつかんでいかないと、未読者が本当の未読者なのかにつながっていくのではないか。

事務局 昨年度から話題になっているが、各学校で朝読書などをやっているのだから、読んでいないはずがないのだが、ただ本を眺めているだけの子がいるのは否定できない。未読者の調査は、学力調査とともに行われる生活習慣の設問の1つ。

委員 生活習慣の読書となると家での読書か？

事務局 そこまで限定はしていない。1ヶ月間で何冊読んだかという設問になる。

委員 設問は杉並区で作成しているのか？

事務局 区で作成していると思う。

委員 経年調査だから質問項目は変えられないと思うが、学校での読書を含むとすれば、0%になるのでは？朝読書をやっていれば、0%になるはず。

事務局 子ども自身が1冊読みきっていないと思っているのかもしれない。

委員 家でとか自発的にと受け取っているのかもしれない。

委員 そこを設問としてはっきり押さえないとデータとして曖昧である。

4 その他

委員が持ち寄った資料をもとに意見交換。

文庫便り、新聞記事、調べる学習コンクール事例など。